



## 鉄骨組立工事が進み、天高く聳える荒屋会館の雄姿がついに出現！ 施設完成後の最有効利活用に向け、各種サークル創設に伴う会員応募に期待

去る8月30日に開催された荒屋会館新築工事の起工式（地鎮祭）以降、地質調査を実施して設計内容を照査検証後、基礎くい工、基礎鉄筋コンクリート工が順次施工され、10月26日から3日間にわたり市道を全面通行止により鉄骨組立工事が行われて、ついに17年間の夢が形としてその雄姿が出現しました。



町会はここまでに至ったプロセスを振り返り、皆様の全面的なご支援に感謝を申し上げ、来年3月完成まで全力を投入して皆様のご期待に報いることができるよう努力して参りますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

また、荒屋会館完成後の最有効利活用を期するため、各種サークル創設を企画し、先だって回覧により会員を募集していますので、同じ趣味を持って

おられるお知り合いの方をお誘いのうえ会員登録をされるよう期待します。

## 2 千坂校下社会体育大会・念願の優勝杯奪還の快挙成る！ 万歳！ 吾が町会のコミュニティ強化活動が奏功し、町会史に輝かしい1頁を記す

千坂校下の第56回社会体育大会が9月27日(日)、好天に恵まれ個人競技や町会対抗競技で熱戦が繰り広げられ、終日千坂小グラウンドに歓声が響き渡りました。

当町会は0歳児から88歳の高齢者までの幅広い年代層からなる110名が参集し、競技で奮闘したり大声援を送ったり、総合優勝を目指し参加者全員が心を一つに熱く燃え上がりました。最初の競技の「みんなでジャンプ」では21回を跳ぶ好成績を上げ、3連覇を達成！



午前の部後半のリレー予選では、ダントツでゴールイン。

午後の部でいよいよ当町会5連覇中の綱引き予選。

初戦の相手は千坂団地。これを難なく一蹴のあと、次なる法光寺チームも軽く降し準決勝戦へと進出しました。

次の競技はむかで競争。この競技は、ここ数年来成績が振るわないので、新たな選手を数名送り込み各チーム編成と選手組み合わせに注力しました。

それが効を奏し、吾がチームがゴールしたとき、他のチームの最終組がスタートする過去に例のない圧勝を遂げ、この競技でも初制覇を果たしました。この時点で優勝の意識がちらついてきました。続いての「大玉ころがし」は、数年来今1つ成績が振るわない種目ですが、初参加の夫婦2人を指名して捲土重来を期しましたが、小学生の西田幸平君がスタートボックスに戻る数m前で強風のためボールが隣りのスタートボックスに大きく流れるトラブルに見舞われたため、ゴールまでその痛手が残って今回も惜敗となりました。

この後、綱引きの準決勝戦。先ず百坂チームと対戦しましたが、号砲一発から双方相譲らず20秒間全く互角のため引き分けとなり、1本勝負となりました。テントから総出の大声援のもと、男女20名全員が渾身の力をふりしぼり奮闘した結果、勝敗を示すセンターポールからリボンが吾が方に数センチ引き寄せられて勝利を上げ決勝戦へ。熱戦さめやらぬうち、



決勝戦はかつての12連覇破格の勢いがあった、強敵横枕・千木親和合同チームと対戦。

一本目開始の合図と同時に数十センチ引き寄せられ、渾身の力を振り絞っても微動だにせず。

二本目も同様な展開となり、結果は健闘むなしく六連覇ならずでした。

一昨年から打倒荒屋の対策を研究され、その成果をみせつけられる悔しい思いを選手のみならず、応援団

を含め全員で味わうこととなりました。

今回は、有力の女性選手が数名も不参加となった影響も敗因の一つでしょう。やはり、出場依頼を二、三ヶ月前からお願いすべきだと指摘があるところです。

いよいよ大詰めのリレー決勝戦。

レース前までの得点で、この決勝戦で三位以内であれば総合優勝確定となっていたので、楽観視していたものの、アンカーがゴール数m前で四位で力走していたところ、前の走者がゴール直前に転倒した結果、幸運が舞い込み第三位でゴールイン。

以上の戦績を以て、平成16年以来5年ぶり2回目の総合優勝を勝ち取りました。

開会式の前に下島青年部長が熱い思いを述べていました。

「何としても優勝したい。新館に優勝旗とカップを堂々と飾りたい！」

その夢の実現が確実となりました！

9月13日に開催した選手選考委員会から当日の競技種目開始直前まで、出場選手確保にご尽力された皆さん、出場された選手の皆さん、応援の皆さんが目標を一つにしてこの快挙を成し遂げ、荒屋団地町会の名声を高めることができました。ありがとうございました。

以上、町会史に輝かしい頁を飾るであろう第56回千坂校下社会体育大会の総合優勝の記録でした。



### 3 第32回千坂校下文化祭・健康フェアが盛大に開催され終日の賑わい 当町会から井波奈津美さん(12班)が体育功労賞を受賞!



第32回千坂校下文化祭が11月1日(日)に「築こう 千坂の里に 健康社会 ~マナーを守って住みよい地域~」をテーマに、千坂小学校体育館・ピロティを「文化ゾーン」、公民館を「健康ゾーン=健康フェア」を会場に盛大に開催され、秋晴れの爽やかな日であったため来場者の出足も良く、終日大勢の人たちで賑わいました。

式典では、文化・体育で顕著な功績のあった個人(16名)と団体(3団体)、及び善行青少年(1名)、健全育成標語の入選者(8名)がそれぞれ表彰され

ました。

午前9時からセレモニーが開始され、小藤公民館長による式辞のあと、文化功労賞等の表彰式に移りました。表彰式では、当町会から星稜高校1年生井波奈津美さん(12班)が全日本ジュニアテニス選手権石川県大会において、シングルスU16準優勝、ダブルスU17優勝の栄誉が讃えられ、体育功労賞を受賞されました。おめでとうございます。

午前中は好天に恵まれたこともあって、昨年を上回る約600名の来場者で賑わいました。

今回も悠々サロンの出展コーナーが確保され、行事内容の紹介やサロンで製作した作品が出品され、来場者から注目を浴びていました。



また、千坂公民館では健康フェアが開催され、ここの会場も体力測定やゲームコーナーが人気を集め、昨年を上回る来場者で賑わいました。

当町会では、昨年に初めて町会活動PRコーナーに出展しましたが、今年には集会所改築関係業務と輻輳するため、見合わせることにしました。

悠々サロン作品展示にあたり、資料作成や会場飾り付け等にご尽力された皆様に心から感謝を申し上げます。

### 4 全市一斉美化清掃ディにご協力ありがとうございました

去る10月18日(日)に実施された全市一斉美化清掃ディにおいて、早朝からご協力を頂き、すっきりした街並みに蘇りました。町会はこれに併せて、公園と歩道の除草を予定していましたが、降りしきる雨のため歩道部分の除草のみを実施しました。翌週に班長の皆さんにも協力していただき、北小公園の除草を実施しました。ありがとうございました。

## 5 総合企画委員会・社会情勢の変化に対応する町会運営の方向付けを協議 諸問題の把握認識と対応策を協議し今後の運営方針概要がまとまる

10月25日(日)、総合企画委員7名(班長3名及び前年度班長4名)、オブザーバー3名出席のもと、今年度第1回の総合企画委員会が開催され、町会運営のあり方等について、長期的観点を踏まえた諸問題の洗い出しとその対応策が熱心に協議されました。

協議事項と対応策の概要は次のとおりです。

### 1. 社会情勢の変化に対応する町会活動の位置づけ

- ・価値観の多様化：全国的にも自治会活動の縦割り運営方式では限界となっており、住民の町会活動参加意欲が低下している。

このため、同好会、サークルを立ち上げそれらの活動を通して地域コミュニティの強化促進を図る。

- ・高齢化：地域に及ぼす影響が年々大きくなっており、副会長・班長の任務遂行不能者が増えて順番が早く回ってくるなどの不公平感が高まっている。これらの対応策として、各種サークル等に行事協力支援、共催を依頼して業務の軽減を図り、高齢者でも役員等の任務が遂行可能な活動とすることを目指す。
- ・若年者層と高齢者層の融合の必要性：それぞれの世代が生きてきた時代環境により価値観が相違している。よって、価値観を共有できる活動を導入する。具体的には、荒屋会館を有効的に利用した「子ども」と親が参加できるイベント等を検討する。
- ・情報化時代：地域住民の情報化対応能力のレベルアップを図る必要性から、パソコン講習会を継続実施する。

### 2. 町会の現状と問題点の洗い出しについて

- ・集会所改築プロジェクト計画：資金計画において、積立金、行政補助金、協賛金の資金総額が事業費総所要額を満たす見込みとなった。

#### ・新館完成後の維持管理の問題点

(1)清掃当番について：毎週1回4人のグループで実施している現状では、3階建て新館で適用継続は困難と考えられることから、隔週月2回を班持ち回り(17ヶ月に1回)とする変更案を検討する。

(2)維持管理費の増大について：エレベーター運転経費、各種サークル活動による光熱水費の増加に伴う費用の捻出が必要となるが、6ヶ月程度の経費実績により検討する。

### 3. 集会所完成後の町会費、集会所積立金の取扱について

- ・町会費(700円/月)は現状を維持する。
- ・案として、積立金(500円/月)は、今年度末(12月)で資金需要を満たす見込みのため次年度以降は廃止し、新たに町会振興基金(300円/月)制度を導入して除雪対策費、集会所管理費に充てる。

### 4. 集会所完成後の管理運営について

- ・集会所は、住民のための最大限に有効利活用を図るべき施設と位置づけし、いつでも、誰でも、自由に利用できる施設とする。
- ・管理人常駐とするため、ボランティア30名以上が必要となるが、その要員は各種サークル等の持ち回り当番制を採用してこれに充てる案を検討する。

### 5. 高齢化に伴う町会運営の問題点と対策について

- ・高齢化が顕著な班について：役員・班長の選出や、各種当番等が頻繁に回ってくる問題

については、地域全体が高齢化の波が押し寄せており、班の改編は非常に困難であるが、特に顕著な班については、いずれかの班に統合する方法が選択肢として考えられる。

- ・冬期積雪時の除雪要望について：町会振興基金(案)から対応可能な範囲内で豪雪時の除雪を外注委託できるよう検討する。

#### 6. 町会長選出の具体的な対策について

- ・町会長選出に関する申し合わせ事項について

千坂校下町会連合会において、今年度に23町会のうち16町会長が交代した。これは、どこの町会でも町会長選出に悩んでいる実態を反映しているが、当町会でも原則任期1年とした申し合わせ事項が存在している。

しかし、1年では前年並みの活動が精一杯で、何もできないという各町会長の意見も多く聞かれ、最小限3年が望ましいという意見もある。

- ・当町会の対応策

来年度の町会長選出については、荒屋会館建設事業が推進途中であり、公募して応募者がなければ申し合わせ事項に関わらず続投すべきであるとの意見が一致した。

もし続投の場合は、来年6月頃までには、再来年度の町会長候補者を決定し同意を得るよう努力する。

#### 7. 荒屋会館の有効利用促進策に伴う各種サークル創設と会員募集(案)について

- ・回覧文書案を協議検討した結果、2種類のサークル追加が提案された。

## 6 千木町交番連絡協議会定例会で、地域における現状報告と意見交換

10月23日(金)千坂公民館において連絡協議会会員、及び、金沢東警察署長ほか本署所属警察官や千木交番所所属警察官全員が出席し、新規会員の選任、地域における現状報告と意見交換が行われました。本席において、新規会員として中屋保雄氏が委嘱されました。

千木町交番所所管の交通事故発生状況、一連の不審火事件、車上荒らしの被害状況等について報告があり、地域会員から千坂校下で百坂、法光寺、柳橋町内が森本交番の所管となっていることについて、防犯対策上、千木町交番に所管換えするよう要望が出されましたが、署長から業務量のバランス上の問題があり、その実現は困難であると表明されました。

また、荒屋団地町内で迷惑行為を繰り返していた者が、刃物を持って金融機関に入ったため施設に収容した旨の報告がありました。防犯は、地域と連携を強めていくことが肝要なので、些細なことでも連絡・相談するよう依頼がありました。

### 転入のお知らせ

13班(□14-1)へ下村俊博さんが転入されました。

よろしくお祈りいたします。

### おくやみ

2班の高畠美保子さん(84才)が9月30日に死去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 青少年健全育成標語優秀作

【小学生の部】

あいさつは みんなをつなぐ 合い言葉

鈴木 舞(5年)

【中学生の部】

あいさつで 伝わる元気 広がる笑顔

小野さやか(1年)